

一般質問



元気溢れる仙北市をめざせ 待たれる観光振興策

田口勝次

元気溢れる仙北市をめざせ

質問 行政が活気溢れる職場になる為に、機構改革・業務改善を図り、業務や市民サービスに徹するべきと思うがどうか。

民間の良さを持って行政にあたると思うが、その割に浸透してないのではないか。

九月予定の本格的機構行財政改革の基本的考えは？

市長 元気溢れる態勢にする事は同感である。仙北市を外から見ると魅力があるか。あれば交流人口が増え、他へ出る人も減る。定住者が増える。

まずは民間のコスト意識を浸透させていきたい。総合計

画を立て、それを元に行財政計画を立て、九月までは整理したい。また、執行態勢のオープン化は今後も更に進めたい。

質問 市民が元気になるには条件整備や資料が必要である。

各種統計など分析し政策にする必要があると思うがどうか。

農業や建設業は先行きが不透明であり、ダウンするのは眼に見えている。どうやってアップするのか。

市長 人口減少で税収は上がらない。統計が古いが産業構造は変化しており、農業人口は減少中である。

生産高に占める農業は生産高金額は四十五億円だが、全

産業に占める比率は四・五％と低い。しかし、サービス業は上昇しており、基幹産業である農業の伸びが鍵となる。

観光振興のため産業政策課は必要では？

質問 産業構造の再配置、営業、農集落支援、農業法人支援、所得向上等を考える為には、先に廃止した産業政策課はぜひとも必要と考えるが再考の余地はないか。

市長 総務部に政策担当を置き中心に進める。観光部と協議しながら執行していく。

質問 既存の資源を守りながら、新たな建物などは必要でないか。

仙北市として新たな土地の利用計画は必要でないか。必要なのは交流人口拡大策か、それとも定住促進策か。

市長 土地の再度利用計画は必要である。定住策より交流人口策が先である。

質問 武家屋敷、桜はどう守る。

市長 文化財はなくさないよう配慮してきたし、歴史的遺構が残っている。地域にあるべき姿で残して行きたい。

町づくりの本拠・市役所はどこに？

質問 町づくりの本拠をどこにするのか。市役所のあり方は、新しい施設が既存の施設の利用か。

市長 分庁舎のデメリットがあるの、各地域に便利な所にした。十年間の後半に大きい額が置かれている。時期は、はっきりしてないが出来るだけ早くしたい。既存の施設を活用できれば、それに越したことはない。

質問 財政健全化を維持しながら適正な行政水準を保てるか。

市長 人口減少で収入が落ちていく。我慢するものは我慢してもらおう。直営施設削減、民間委託、指定管理者制度を進めながらもサービスは落さない。

質問 診療報酬の改定で先が見えず経営が悪化している二つの病院の今後の見通しは。また、大曲厚生連への対応は。

市長 役割分担をしながら広域での対応を考えたい。医療技術の面も含め、組合病院への対応も考えていく。



街づくりの要、企画政策課